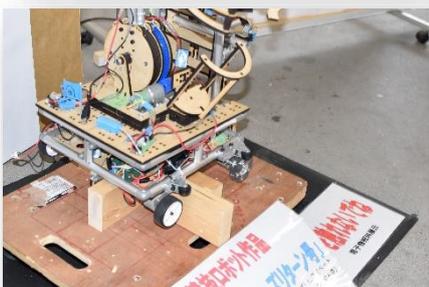


生徒会行事 「令和3年度第59回十和工祭」

メインテーマ「DREAM 5科最後の十和工祭」

令和3年10月14日（木）1日目 校内公開

コロナウイルス感染症対策として無観客（一般公開なし）での十和工祭となりました。1，2年生はクラス展示、3年生は学科展示のみの開催となりましたが。クラスの特徴を生かした楽しい展示や体験コーナーをみんなで楽しむことができました。



放課後「全校生徒みんなで製作したスタンドグラスの点灯せしモニー」

この日の夕方、HRの窓がスタンドグラスに変わりました。夕暮れとともに全校生徒が前庭に集まり点灯せしモニーをしました。そのあとは打ち上げ花火のサプライズもありみんなで幻想的な時間を過ごすことができました。(初の試みなどで試行錯誤の連続でした)



令和3年10月15日（金）

この日は十和田市文化センター大ホールを貸し切り。生徒会のオープニングイベント、吹奏楽部のコンサート、文化部と愛好会の活動発表、実行委員会の女装コスプレ大会やビンゴ大会も行われ大いに盛り上がりました。



デーリー東北新聞に掲載して頂きました。(10月26日の新聞記事より抜粋)

<https://www.daily-tohoku.news/archives/83404> (デーリー東北デジタル版はこちらに掲載)



十和田

校舎の窓、ステンドグラス風に

青森県立十和田工業高（佐藤努校長）の生徒がこのほど、文化祭の一環で校舎の窓をステンドグラス風に装飾した。文化祭初日の夕方に点灯式が開かれ、色鮮やかな絵が校舎を彩った。

今年の文化祭「十和工祭」は、新型コロナウイルス対策により一般公開を中止し、生徒のみで開催。生徒の活動を地域に発信しようと、ステンドグラス風の装飾を生徒会が主体となって企画した。全校生徒435人が制作に当たり、2、3階の窓に紙やセロハンで自由に絵や模様を表現。点灯式で校舎前に集まった生徒たちはキャラクターや風景など多彩な装飾の光を楽しんだ。

生徒会長の渡辺隼史さん(18)は「想像以上にきれいで、みんなも盛り上がっていた。企画が成功してうれしい」と喜んだ。

(船渡拓)